

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 1 回幹事会議事録

日 時：平成 27 年 5 月 20 日（水）14:00～17:00

場 所：土木学会 C 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，齋藤隆幹事，斉藤成幹事，平幹事，
中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，溝江幹事，久米村事務局

配布資料：

- 資料 幹 1-0 平成 27・28 年度第 1 回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹 1-1 平成 25・26 年度第 12 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹 1-2-1 平成 27・28 年度複合構造委員会幹事会名簿
- 資料 幹 1-2-2 複合構造委員会組織図 H27
- 資料 幹 1-2-3 ずれ止め委員会設立趣意書（案）
- 資料 幹 1-2-4 幹事会作業分担（案）
- 資料 幹 1-2-5 委員の変更・追加
- 資料 幹 1-2-6 小委員会新規委員（案）
- 資料 幹 1-2-7 常設小委員会委員交代スケジュール（案）
- 資料 幹 1-2-8 幹事会スケジュール（案）
- 資料 幹 1-3 平成 27・28 年度複合委員会委員名簿（案）
- 資料 幹 1-4-1 平成 27 年度委員会予算（案）
- 資料 幹 1-4-2 平成 26 年度委員会会計報告
- 資料 幹 1-5-1(1) H26 年度委員会活動度個別調査書確認の依頼_複合構造
- 資料 幹 1-5-1(2) H26 年度委員会活動度個別調査書 28 複合構造
- 資料 幹 1-5-1(3) 情報発信数（行事参加者）の基本的数え方（H26 年度）
- 資料 幹 1-5-2(1) JSCE2010H26 年度自己評価作成依頼
- 資料 幹 1-5-2(2) 【調査研究部門】H26 年度 JSCE2010 自己評価票
- 資料 幹 1-5-2(3) 【調査研究部門】H25 年度 JSCE2010 自己評価票
- 資料 幹 1-6-1 第 11 回複合・合成構造シンポジウム準備
- 資料 幹 1-6-2 見学会候補 1（JR 新橋駅）
- 資料 幹 1-6-3 見学会候補 2（鬼高 PA）
- 資料 幹 1-7-1 論文集特集号
- 資料 幹 1-7-2 H005 小委員会支出一覧
- 資料 幹 1-7-3 論文集特集号編集小委員会・委員選定プロセス案
- 資料 幹 1-7-4 論文集特集号編集小委員会委員構成
- 資料 幹 1-8-1(1) 平成 27 年度全国大会研究討論会草案
- 資料 幹 1-8-1(2) 研究討論会連絡
- 資料 幹 1-8-1(3) 平成 27 年度研究討論会部屋割り
- 資料 幹 1-8-2 平成 27 年度全国大会共通セッションプログラム案
- 資料 幹 1-9 出版関連報告
- 資料 幹 1-10-0 小委員会一覧
- 資料 幹 1-10-1 H101 示方書委員会
- 資料 幹 1-10-2 H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会

- 資料 幹 1-10-3 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
資料 幹 1-10-4 H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会
資料 幹 1-10-5 H214 複合構造の防水・排水研究小委員会
資料 幹 1-11 第1回委員会議事次第(案)

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より、新体制の始動にあたり挨拶がなされた。また、西崎副委員長、滝本幹事長、各幹事、および久米村事務局より自己紹介がなされた。

1. 第12回(平成25・26年度)議事録確認(資料 幹1-1)

第12回幹事会議事録(案)について、滝本幹事長より説明され、一部修正の上、承認された。

- ・ 9(2)「大久」→「大久保」
- ・ 9(3) 研究小委員会メカニズム → 研究小委員会

2. 平成27・28年度複合構造委員会・幹事会体制(分担と進め方)(資料 幹1-2)

滝本幹事長より、平成27・28年度複合構造委員会および幹事会の体制について説明があった。

- ・ 常設委員会の委員構成について承認された。委員交代のタイミングについては、各小委員会の活動に支障がないように配慮する。
- ・ H001シンポジウム小委員会については、豊橋技科大の松本先生に委員に加わってもらい、11月のシンポジウム終了後に委員の交代を検討することとした。
- ・ H002国際連携小委員会については、委員長、幹事長、および2名の委員が決まっており、当面はこの4名で活動を開始することとした。また、6月の複合構造委員会で興味のある方がいないか伺ってみる。鋼構造委員会やコンクリート委員会との連携を探ることとした。
- ・ 複合構造シリーズ05の改訂委員会を早急に立ち上げる必要がある。大山委員長候補に連絡し、H103複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会として委員構成(案)を含めた設立趣意書を作成してもらうこととした。幹事会メール審議とし、6月の複合構造委員会で承認してもらうこととした。
- ・ 2種委員会で、若い新しい方に委員会を立ち上げてもらえるように検討を進めていきたい。各幹事は、次回幹事会で新規委員会のテーマ案を持ちよることとした。

・ 複合構造委員会および幹事会の日程

複合構造委員会

第1回 6月17日(水)

第2回 12月22日(火)

幹事会

第1回 5月20日(水)

第2回 7月30日(木)

第3回 9月17日(木)

第4回 11月4日(水)

第5回 1月25日(月) (1/27から変更)

第6回 3月4日(金)-5日(土) (3/11-12から変更)

3. 平成27・28年度複合構造委員会の構成(資料 幹1-3)

滝本幹事長より、資料に基づき説明があった。

- ・交代の一部委員について意見があり、再度調整することとした。
- ・新規1種委員会の委員長候補である古内先生には、複合構造委員会の委員に就任をお願いすることとした。

4. 平成26年度委員会決算、平成27年度委員会予算（案）（資料 幹1-3）

池田幹事より、平成26年度の委員会決算について説明があった。

- ・論文集校正の予算の都合により、10万円ほど残額がでた。論文集校正の経費は、次年度に回すことを原則とすることとした。

滝本幹事長より、平成27年度の委員会予算について説明があった。

- ・今年度は、選挙管理委員会の経費は0でよい。
- ・論文集特集号編集小委員会については、委員会予算のあり方について、小委員会で検討してもらうこととした。

5. 平成26年度委員会活動度評価・自己評価（資料 幹1-5）

滝本幹事長より、資料に基づき説明があった。

- ・今年度は、示方書や合成床版の出版があるため、Aランクを目指したい。

6. 第11回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹1-6）

溝江幹事より、資料に基づき説明があった。

- ・講演原稿投稿の締切りが5/31であり、再度、投稿依頼のメールを配信する。
- ・現場見学会は、JR新橋駅の見学を第1候補とした。

7. 論文集特集号（資料 幹1-7）

牧幹事より、資料に基づき説明があった。

- ・第2巻が5月末にJ-Stageに掲載される。小委員会報告3編、論文3編。
- ・招待論文については、掲載を断念した。
- ・H27・28年度は、FRP分野の幹事を増やして、幹事3名、委員会総計10名で活動する。
- ・校正料は次年度送りとするので、予算の不確定要素がなくなる。
- ・編集小委員会の運営予算の動向によっては、掲載料をとることなどを検討する必要がある。
- ・査読プロセスの提示は見送られたが、何らかの形で示せるようにしたい。
- ・ぜひ第3巻では招待論文が掲載されるようお願いした。

8. 平成27年度全国大会・年次学術講演会（資料 幹1-8）

(1) 研究討論会

斉藤幹事より、資料に基づき説明があった。

- ・構造性能評価に関する話題を扱うこととし、現在、パネリストを選定中である。
- ・開催日が最終日の遅い時刻に設定されたため、集客はあまり期待できないかもしれない。
- ・研究討論会の準備において、幹事会に協力が依頼された。

(2) 共通セッション

広瀬幹事より、資料に基づき説明があった。

- ・今年度は44編の投稿があった。セッションの時間が80分となったが、講演数が少なくなったため、1編あたりの時間が増えた。

- ・幹事に座長をお願いした。大久保幹事は水曜日の参加が困難であるため、場合によっては調整することとした。久米村事務局に、共通セッションの時間割の確認をお願いした。

9. 出版関係（資料 幹1-9）

滝本幹事長より、資料に基づき説明があった。

- ・原価回収部数に達していない複合構造レポート07～12については、販促を行う必要がある。

10. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹1-10-1）

斉藤幹事より、資料に基づき説明があった。

- ・次期改訂に向けた新規委員会の設置を了承し、体制が整いしだい活動開始してもらうこととした。6月の複合構造委員会までに委員会構成が固まればそこで承認してもらい、間に合わなければ、後日メール審議を行う。
- ・ずれ止め委員会は示方書改訂に関わるタスクフォース的委員会として、1種委員会での設置が了承された。6月の複合構造委員会までに委員会構成案を作成してもらい、複合構造委員会で古内小委員会委員長に設立趣旨を説明頂くこととした。なお、設立趣意書に関して、示方書のタスクフォース的な位置づけであることが分かるようにしてもらい、活動期間は2年間としてもらうことをお願いすることとした。また、アウトプットの公開についても検討してもらうこととした。
- ・地方開催については、福岡：葛西幹事，札幌：松本幹事，大阪：大久保幹事を世話人とする事とした。示方書講習会の参加費が比較的高額であるため、他の小委員会との共同開催は難しいかもしれない。その場合は、会場に出版物を並べるなど、販促について検討することとした。

(2) H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会（資料 幹1-10-2）

滝本幹事長より資料に基づき報告があった。

- ・現在、最終案を作成中である。6月の最終委員会の後、9月末に脱稿、12月に講習会を行う予定である。

(3) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹1-10-3）

牧幹事より、資料に基づき報告があった。

- ・第2期の活動を開始した。
- ・11月の複合シンポジウムのパネルディスカッションを企画している。
- ・委員1名の追加を確認した。

(4) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会（資料 幹1-10-4）

滝本幹事長より、資料に基づき報告があった。

- ・6月に第4回の委員会を開催する予定である。委員会設立から半年が経ち、本格的な議論が開始されている。

(5) H214 複合構造の防水・排水研究小委員会（資料 幹1-10-5）

溝江幹事より、資料に基づき報告があった。

- ・現在、委員を公募中である。20名程度を予定している。

11. 第1回委員会議事次第（資料 幹1-11）

滝本幹事長より、資料に基づき説明があり、議事の確認を行った。

1 2. その他

・次回

日時：平成27年7月30日（木）14:00-17:00

場所：土木学会

以 上

(記録・文責：斉藤成)